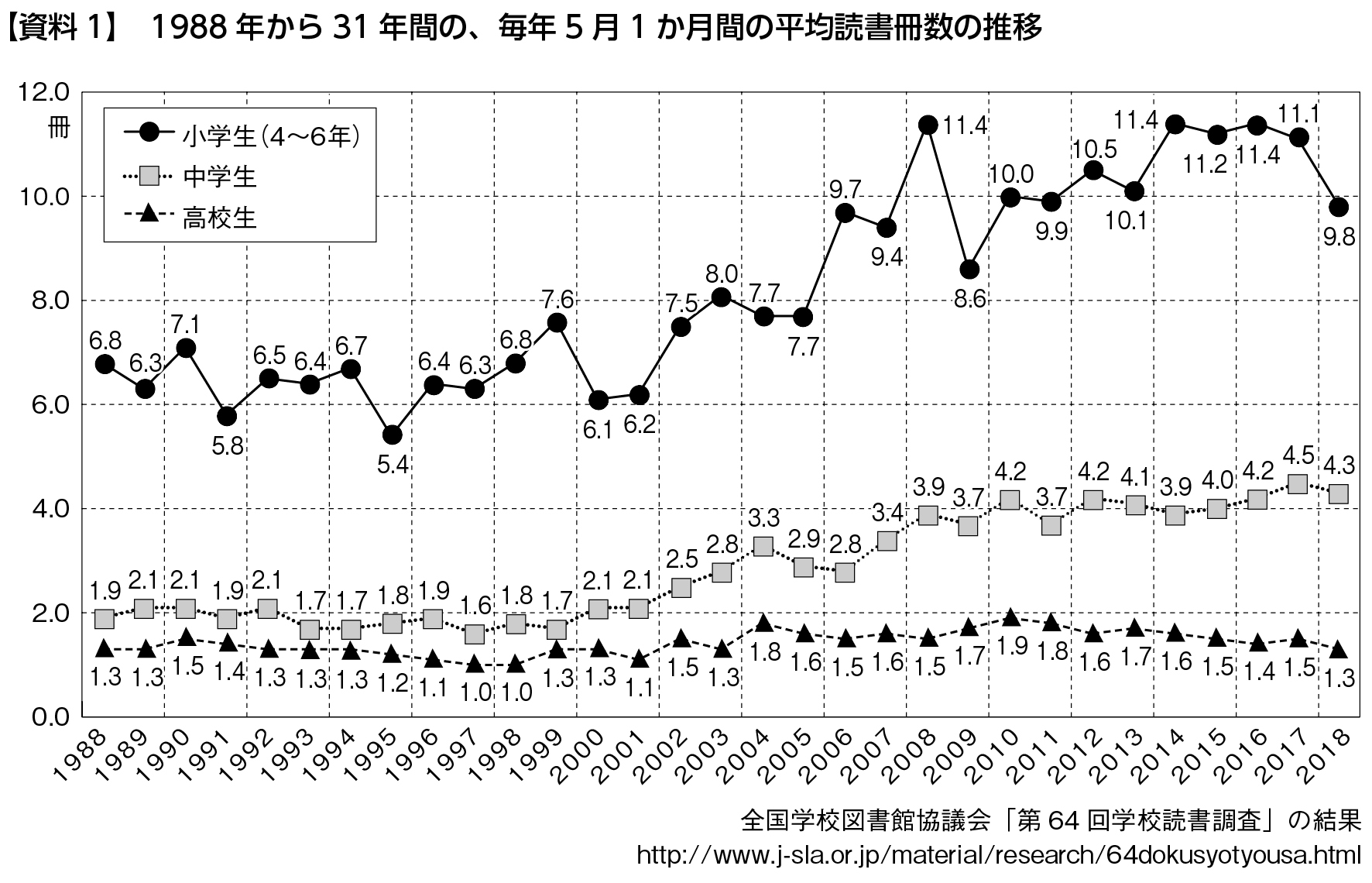
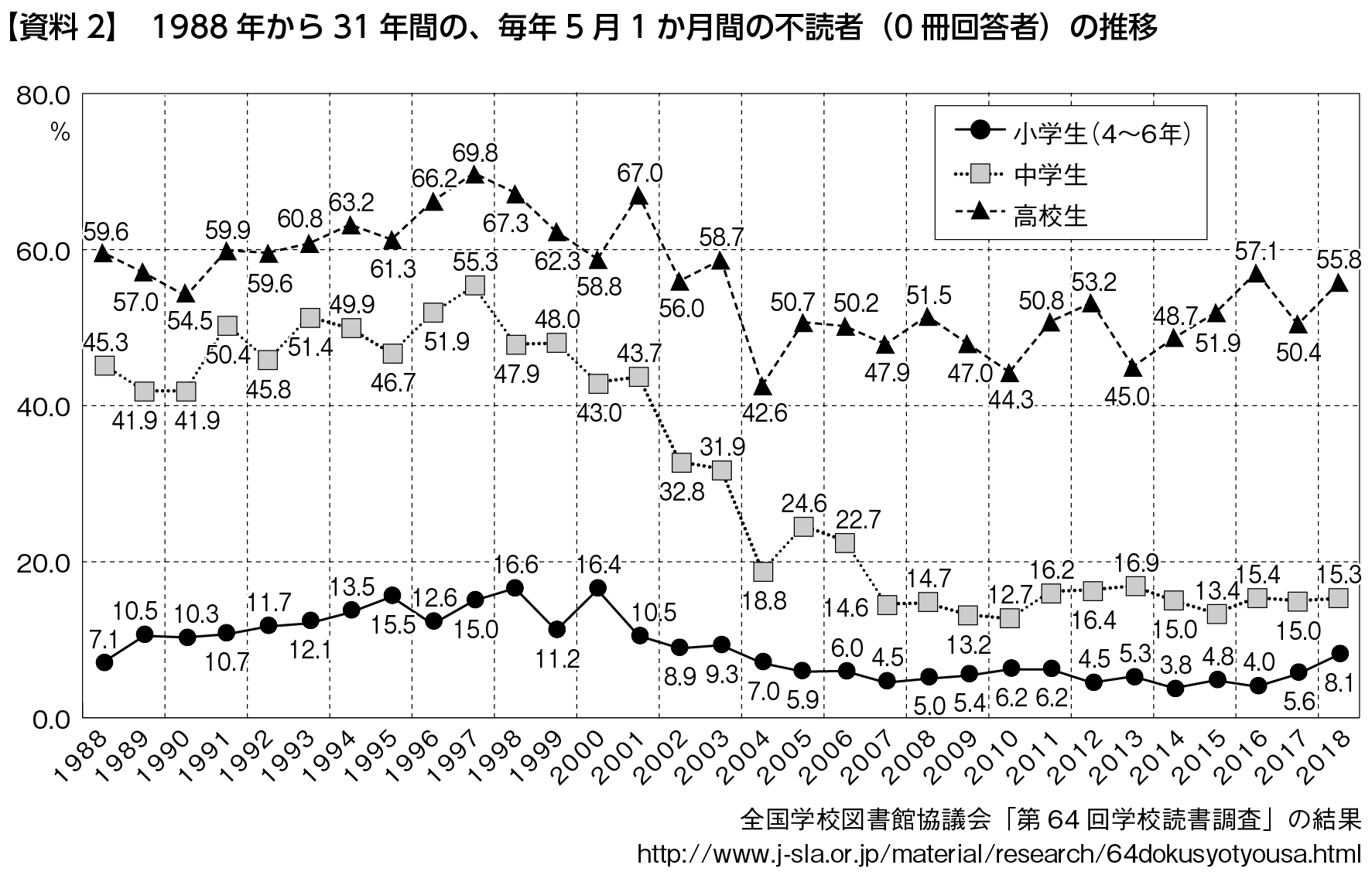
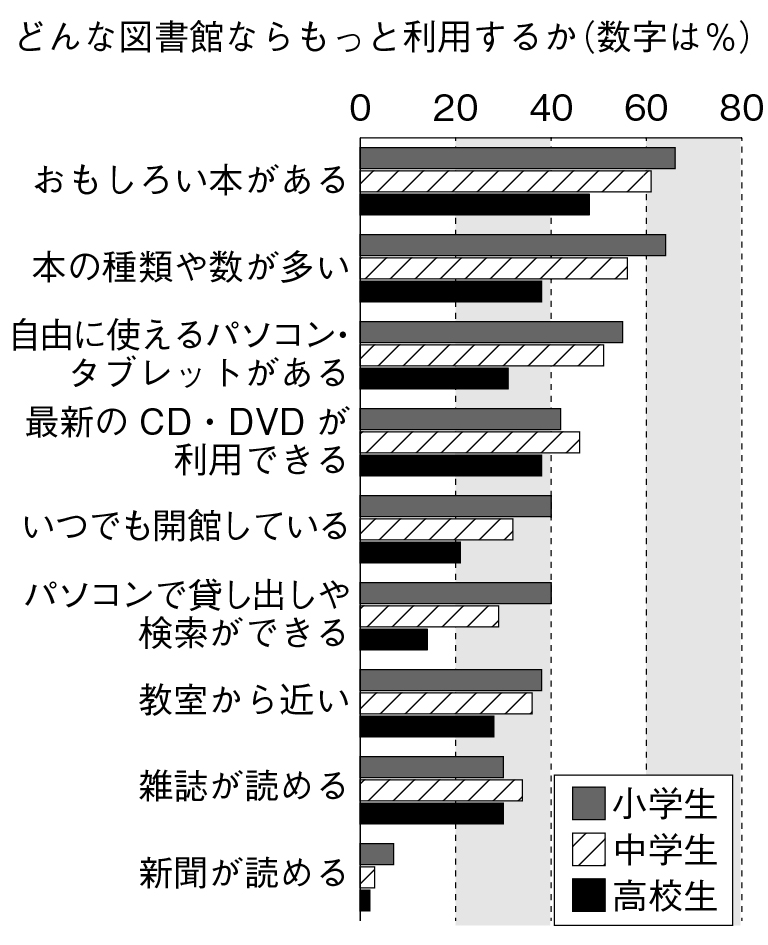
演習編　12　児童生徒の読書状況

　【資料１～４】は、全国の小・中・高の児童生徒の読書状況を表したグラフと、同じく児童生徒の学校図書館に対する要望についての新聞記事である。これらの資料を読んで、後の問いに答えよ。







【資料３】児童・生徒、図書館に要望

　全国の小中高校生に「どんな学校図書館なら、もっと利用したいか」（複数回答）を聞いたところ、「おもしろい本がある」が小学生66％、中学生61％、高校生48％でともに最多だった。次いで「本の種類や数が多い」（小学生64％、中学生56％、高校生38％）。小学生や中学生では「自由に使えるパソコン･タブレットがある」も支持を集めた。

　ただ、「その他」の項目で集めた自由回答からは、児童・生徒の「本音」ものぞく。小学生は「先生が優しい」「好きなことができる」、中学生は「くつろげる場所がほしい」「静かでゆっくりできる」、高校生では「個人のスペースがある」「本を読むことを強要されない」。図書館に読書以外の機能を求める声も寄せられた。

　文部科学省は公立の小中学校の学校図書館について、整備すべき蔵書冊数の標準を示している。2015年度の調査では小学校の６割強、中学校の５割強が達成。学校図書館の専門的職務を行う「司書教諭」の配置も、12学級以上では小中高とも９割を超え、ハード面での整備は着々と進んでいる。

毎日新聞　2016年10月27日　東京版

【資料４】学校読書調査　学校図書館は「安心できる場」に

　毎日新聞は26日、全国学校図書館協議会（全国ＳＬＡ）の協力を得て、全国の小中高生を対象にした「第62回学校読書調査｣の結果をまとめた。学校図書館で働いている先生にどんなことをしてもらいたいかを尋ねたところ、従来の業務である図書館の案内や本の紹介より、「安心できる場」を作ってほしいと望む中高生が多かった。

　学校別にみると、小学生は「本がある場所を案内してくれる」が53％と最多で、「安心できる場を作ってくれる」（46％）は２位だった。しかし、中学生になると、「安心できる場」が45％でトップになり、「案内」（42％）を逆転。高校生では「安心できる場」は46％で、「案内」（30％）と差が開いた。学校図書館に安心を求める回答は、小中高とも女子が多かった。

　学校図書館は、専門的職務を行う「司書教諭」と、事務職員の「学校司書」が中心になって運営されている。全国ＳＬＡ参事の千葉尊子司書教諭は「中高生は将来への不安や成績の悩みが高まる時期。不登校気味の子でも、学校図書館なら本があり、先生とも話さなくてすむ。学校図書館は近年、子どもたちの心のクールダウンの場としても使われている」と説明している。

毎日新聞　2016年10月27日　オンライン版

https://mainichi.jp/articles/20161027/k00/00m/040/101000c

問１　【資料１・２】から読み取れる事実に合致する選択肢を次から一つ選び、記号で答えよ。３点

ア　二〇〇〇年を境にして小学生の一か月間の平均読書冊数は一貫して増加傾向にある。

イ　小学生に比べて中学生・高校生の一か月間の平均の読書冊数は少ない。

ウ　中学生の一か月間の一冊も本を読まない者の数は一定である。

エ　高校生で一か月間の一冊も本を読まない者の数はここ五年で増加しつつある。

オ　二〇一四年以降一か月間の平均の読書冊数を減らしているのは高校生だけである。

［　　　　］

問２　【資料１・２】から共通して読み取れる読書量の推移について、「序列関係」という言葉を使って、解答欄に合う形で40字以内で答えよ。４点

三十一年間を通して

［

］こと。

問３　【資料２】から読み取れる不読者の推移について、解答欄に合う形で30字以内で答えよ。４点

二〇〇一年から二〇〇四年の間では

［

］こと。

問４　【資料３・４】から共通して読み取れる、小学生・中学生が学校図書館に期待することを二つ、30字以内で答えよ。各４点×２

▽＝［

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

▽＝［

］

問５　【資料３・４】から共通して読み取れる、高校生が学校図書館の先生に最も期待することを、解答欄に合う形で50字以内で答えよ。６点

学校図書館の先生に

［

］

問６　あなたは、高校生の読書状況を改善するために学校図書館がどのようなことをすればよいと考えるか。【資料１～４】の読み取りをもとに、後の⑴～⑷を満たすように書け。各５点×３＋10点

解答へのステップ

１　まず【資料１・２】から次の項目について読み取れることをまとめよう。

高校生の読書量　　［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　］

高校生の不読者の数［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　］

２ 次に【資料３・４】から高校生が「読書」以外の機能として学校図書館に要望していることを、三つ読み取ろう。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 こと］

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 こと］

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 こと］

３　１・２を踏まえてやるべきことを考えよう。

［

こと］

［

こと］

１～３をつなげて解答をつくろう。

⑴　二つの文に分けて、全体を80字以上、120字以内で書くこと。

⑵　一文目は、【資料１～４】から読み取れる高校生の読書状況、および高校生が学校図書館に要望していることについて書くこと。

⑶　二文目は、⑵を踏まえた学校図書館に対する提案を書くこと。

⑷　二文目は、「と考える。」に適切に続くような形で書くこと。

［

］と考える。

《解答・採点基準・自己採点表》

問１　イ ３点

問２　（三十一年間を通して）Ａ小学生・中学生・高校生のＢ平均読書冊数・不読者のＣ序列関係は変化していない（こと。）（35字）４点

基準　Ａ＝１点／Ｂ＝１点／Ｃ＝２点

「序列関係」という言葉がなければ全体０点。

問３　（二〇〇一年から二〇〇四年の間では）Ａ中学生・高校生の不読者は大幅に減り、Ｂ小学生はやや減少している（こと。）（30字）４点

基準　Ａ＝２点〔中学生・高校生の不読者が大幅に減少していること〕

Ｂ＝２点〔小学生はやや減少していること〕

問４　▽＝Ａ学校図書館の先生にＢ図書館の案内や本の紹介をしてもらうこと。（29字）４点

基準　Ａ＝１点

Ｂ＝３点〔図書館の案内と本の紹介という二つの内容があること〕

▽＝Ａ学校図書館の先生にＢくつろげ安心できる場を作ってもらうこと。（29字）４点

基準　Ａ＝１点

Ｂ＝３点〔くつろげ安心できる場を作ってもらうという内容があること〕

問５　（学校図書館の先生に）Ａ本のある場所の案内よりも、Ｂ自分が個人として落ち着ける場所、Ｃ安心できる場所をＤ作ってもらうこと。（46字）６点

基準　Ａ＝１点／Ｂ＝２点／Ｃ＝２点／Ｄ＝１点

問６　 解答へのステップ　各５点×３

１　高校生の読書量＝一貫して少ない

高校生の不読者の数＝小学生・中学生に比べて多い

２・本を読むことを強要されない（こと）

　・個人のスペースがある（こと）

　・安心できる場である（こと）

３　（解答例）

　・簡単な仕切りを設けた個人のスペースを作る（こと）

　・本に興味が持てるようなポスターをさりげなく掲示する（こと）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **正**  **答**  **例** | 読み取れるのは②高校生の読書量が極端に少ないということと、③学校図書館に個人的に安らげるスペースを求めているということである。これらを踏まえ④簡単な仕切りを設けた個人のスペースを作り、⑤本に興味を持てるようなポスターをさりげなく掲示すればよい⑥（と考える。）（①117字） | | |
| **正**  **答**  **の**  **条**  **件** | 正答の条件は次の６つとする。 | | **チェック欄** |
| ①80字以上、120字以内で書かれていること。 | |  |
| ②一文目に、「高校生の読書量が極端に少ない」ということが書かれていること。 | |  |
| ③一文目に、「学校図書館に個人的に安らげるスペースを求めている」ということが書かれていること。（「落ち着ける場所」などの表現も可） | |  |
| ④二文目に、③を踏まえた個人のスペースを確保する提案が書かれていること。 | |  |
| ⑤二文目に、図書館本来の機能である本の案内に関わる提案が書かれていること。 | |  |
| ⑥二文目が、「と考える。」に適切に続くような形で書かれていること。 | |  |
| **解**  **答**  **類**  **型** | ａ | 条件①～⑥のすべてを満たしている解答 | 10点 |
| ｂ | 条件①～⑤を満たしている解答 | 8点 |
| ｃ | 条件①を満たし、②～⑤のうち３つを満たしている解答（⑥は満たしていても満たしていなくてもよい） | 6点 |
| ｄ | 条件①を満たし、②～⑤のうち２つを満たしている解答（⑥は満たしていても満たしていなくてもよい） | 4点 |
| ｅ | 条件①を満たし、②～⑤のうち１つを満たしている解答（⑥は満たしていても満たしていなくてもよい） | 2点 |
| ｆ | 上記以外の解答／無解答 | 0点 |